



栃木県の経済情勢報告

令和8年1月29日

財務省関東財務局
宇都宮財務事務所

お問い合わせ先
宇都宮財務事務所 財務課
電話番号 028-346-6301 (直通)

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、持ち直している」

項 目	前回（7 年 10 月判断）	今回（8 年 1 月判断）	前回比較
総括判断	持ち直している	持ち直している	→

（注）8 年 1 月判断は、前回 7 年 10 月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、緩やかに回復しつつある。生産活動は、横ばいの状況にある。雇用情勢は、持ち直しのテンポが緩やかになっている。

【各項目の判断】

項 目	前回（7 年 10 月判断）	今回（8 年 1 月判断）	前回比較
個人消費	緩やかに回復しつつある	緩やかに回復しつつある	→
生産活動	横ばいの状況にある	横ばいの状況にある	→
雇用情勢	緩やかに持ち直している	持ち直しのテンポが緩やかになっている	↘
設備投資	7 年度は増加見込みとなっている	7 年度は増加見込みとなっている	→
企業収益	7 年度は減益見込みとなっている	7 年度は減益見込みとなっている	→
企業の景況感	「下降」超となっている	「上昇」超となっている	↗
住宅建設	前年を下回っている	前年を下回っている	→
公共事業	前年を下回っている	前年を下回っている	→

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、持ち直していくことが期待される。ただし、今後の物価動向、米国の通商政策、金融資本市場の変動等の影響に注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「緩やかに回復しつつある」

ホームセンター販売額は前年を下回っているものの、百貨店・スーパー販売額、コンビニエンスストア販売額、ドラッグストア販売額、家電大型専門店販売額は前年を上回っている。乗用車新車登録届出数は前年を下回っている。また、宿泊や飲食サービスについては緩やかに回復しつつある。このように、個人消費は緩やかに回復しつつある。

(主なヒアリング結果)

- 若者向けブランドの衣料品の売上げが伸びており、若年層を中心に給与・ボーナスの増加などが影響して消費意欲が向上していると感じている。(百貨店・スーパー)
- クリスマスが平日であったが、昨年度よりもクリスマス関連の商品を増やして販売したところ、売行きが想定以上に良かった。(百貨店・スーパー)
- 各種企画やクーポン施策の実施によりフライヤーを中心としたカウンター商材等が好調であるほか、菓子、ドライ飲料、インスタント食品等の売行きも良い。(コンビニエンスストア)
- 消費者の節約志向が高まっており、食料品や洗剤等の大容量商品が引き続き好調。(ドラッグストア)
- 既存OSのサポート終了後もPCの買換え需要は高く、ボーナスの支給により購入する消費者も見受けられており、今後も好調に推移すると見込んでいる。(家電量販店)
- 10月中旬あたりまで気温があまり下がらず、ヒーター等の季節商品の売出しに遅れが生じた。(ホームセンター)
- 顧客の自動車購入意欲の低下は感じられないが、メーカーからの供給台数が顧客の需要に追いついておらず、販売台数が伸びていない。(自動車販売)
- 節約と少々の贅沢を両立する消費行動が一定程度あり、祝い事や特別な場面で利用する消費者が見受けられる。(飲食サービス)
- 天候の良い日が多かった点に加え、平日の子ども料金を安くしたことで客足が好調だった。(宿泊)

■ 生産活動 「横ばいの状況にある」

鉱工業生産指数を業種別にみると、化学、生産用機械等が上昇している一方、電気機械が低下しているなど、横ばいの状況にある。

- 米価の高止まりによる影響により、農家の農業用機械の購入需要が高まっていることから、当社製品の生産量を増加させた。(生産用機械)
- 当社との取引先が、人件費や物価上昇の影響により設備投資に充てられる金額が減っているため、生産量が伸びていない。(電気機械)

■ 雇用情勢 「持ち直しのテンポが緩やかになっている」

有効求人倍率、新規求人数ともに低下しており、雇用情勢は、持ち直しのテンポが緩やかになっている。

- 人手が全体的に不足気味であり、特に労働時間の制約等が強いトラックドライバーに対しては給与を上げることで人手の確保に努めている。(運輸)
- オープンカンパニーの実施や、様々な求人システムの媒体を用いることで、一人でも多くの応募者を増やし採用者の確保につなげようとしている。(建設)
- 生産が低迷するなか、人件費抑制に取り組んでおり、非正規職員を減らしたほか、正規職員の一部を親会社に出向させている。(製造)

■ 設備投資 「7年度は増加見込みとなっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」7年10～12月期

- 7年度の設備投資計画額をみると、製造業では前年比22.6%の増加見込み、非製造業では同12.5%の増加見込みとなっており、全産業では同20.4%の増加見込みとなっている。

■ 企業収益 「7年度は減益見込みとなっている」 (全規模) 「法人企業景気予測調査」7年10～12月期

- 7年度の経常利益(除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」)をみると、製造業では前年比14.8%の減益見込み、非製造業では同1.8%の減益見込みとなっており、全体では同11.6%の減益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『上昇』超となっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」7年10～12月期

- 企業の景況判断BSIを現状判断についてみると、全規模・全産業で「上昇」超となっている。なお、先行きについて、全規模・全産業でみると、8年1～3月期は「下降」超で推移する見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を下回っている」

- 新設住宅着工戸数をみると、持家、貸家、分譲住宅のいずれも前年を下回っており、全体としても前年を下回っている。

■ 公共事業 「前年を下回っている」

- 前払金保証請負金額をみると、市町は前年を上回っているが、国、県は前年を下回っており、全体としても前年を下回っている。

■ 企業倒産 「倒産件数及び負債総額は前年を上回っている」



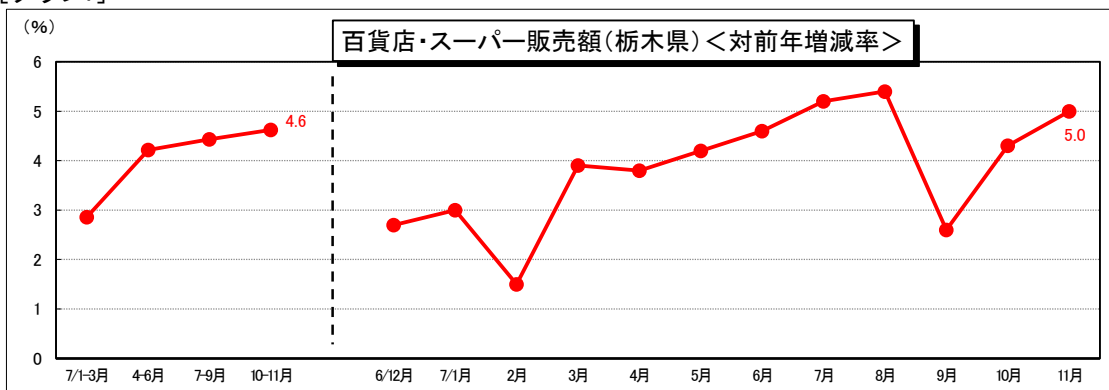
栃木県の経済情勢報告

資 料 編

1. 個人消費

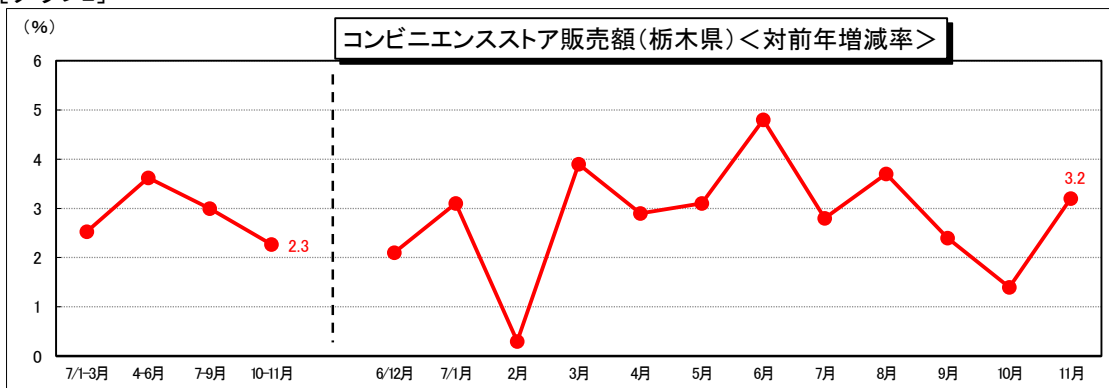
緩やかに回復しつつある

[グラフ1]



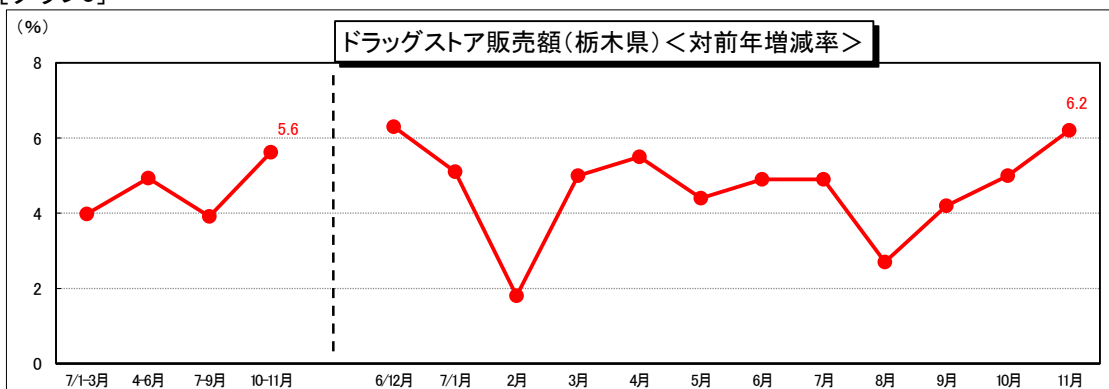
出典：「商業動態統計」(経済産業省)を加工 ※全店ベース

[グラフ2]



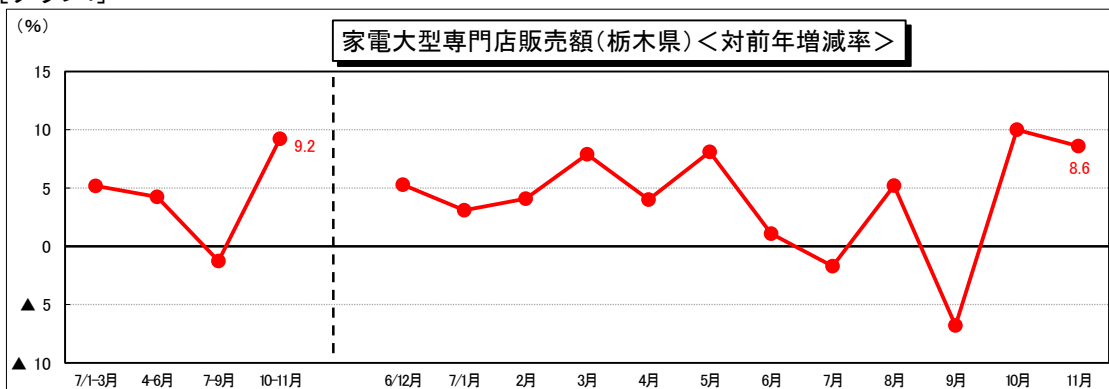
出典：「商業動態統計」(経済産業省)を加工 ※全店ベース

[グラフ3]



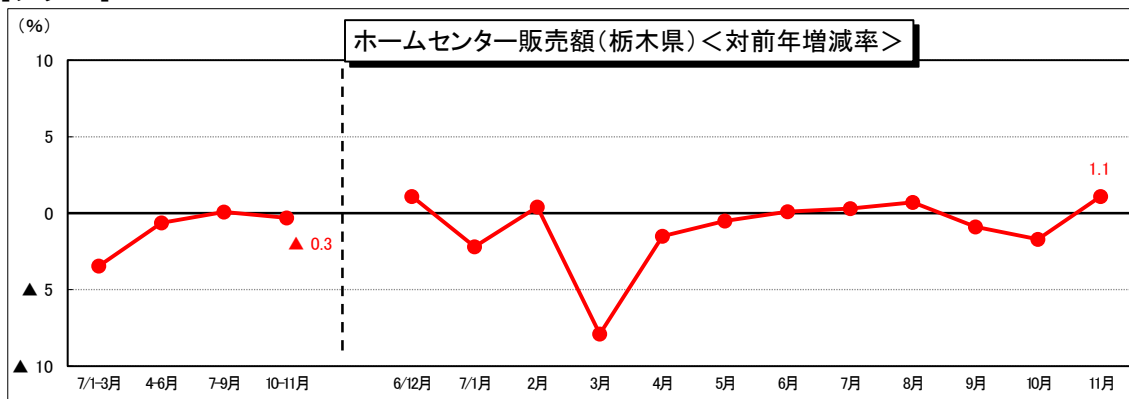
出典：「商業動態統計」(経済産業省)を加工 ※全店ベース

[グラフ4]

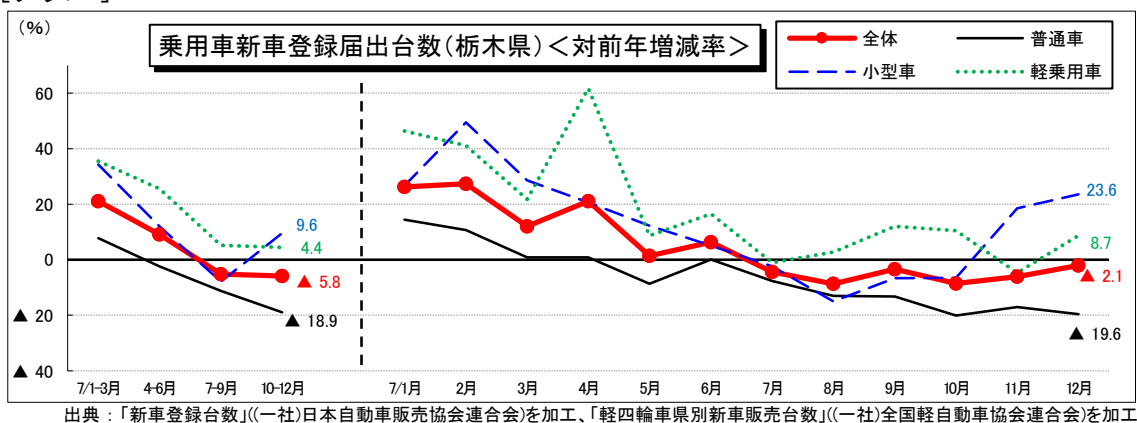


出典：「商業動態統計」(経済産業省)を加工 ※全店ベース

[グラフ5]



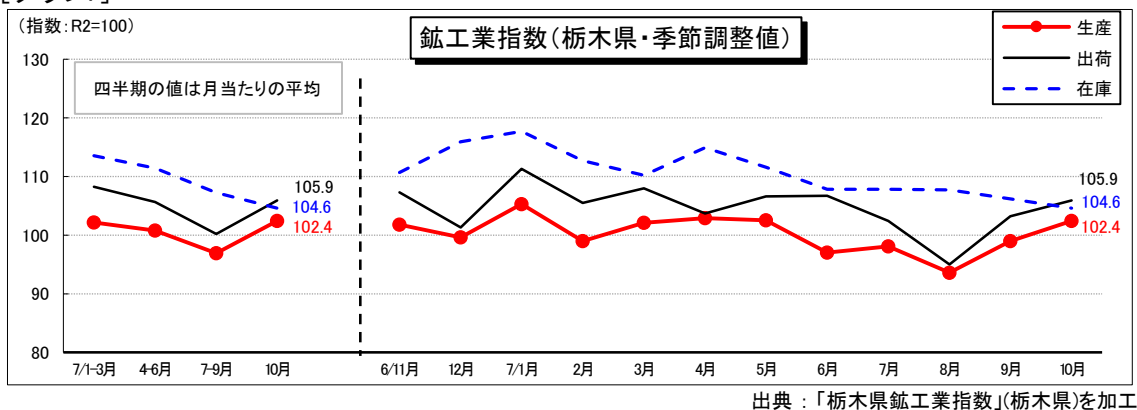
[グラフ6]



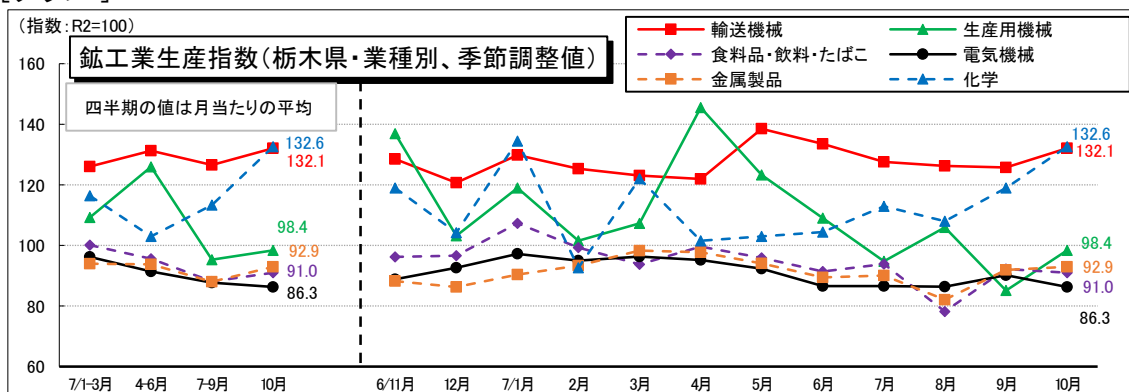
2. 生産活動

横ばいの状況にある

[グラフ7]



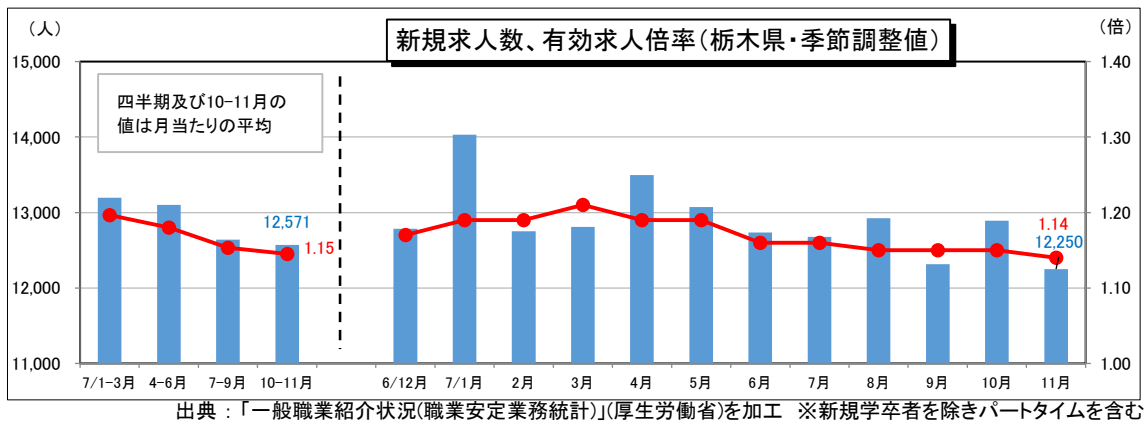
[グラフ8]



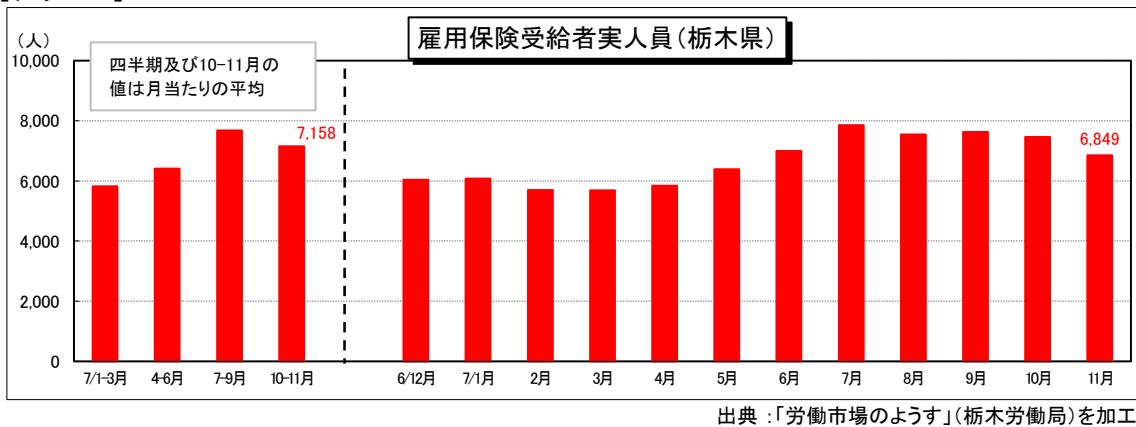
3. 雇用情勢

持ち直しのテンポが緩やかになっている

[グラフ9]



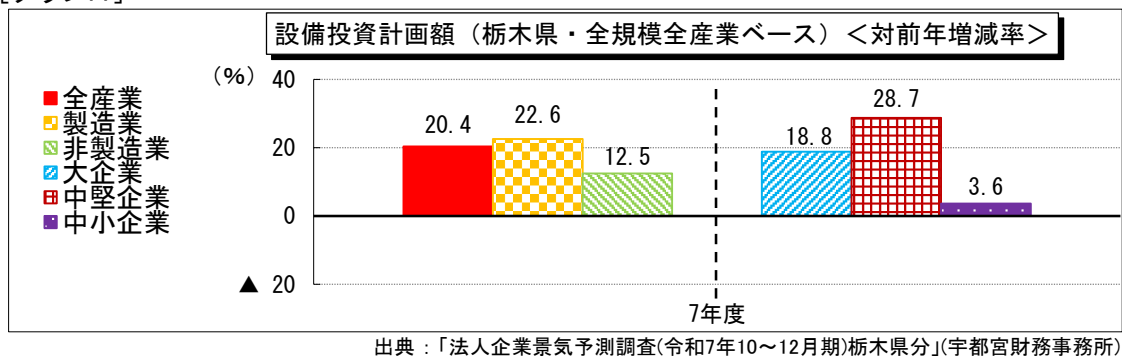
[グラフ10]



4. 設備投資

7年度は増加見込みとなっている

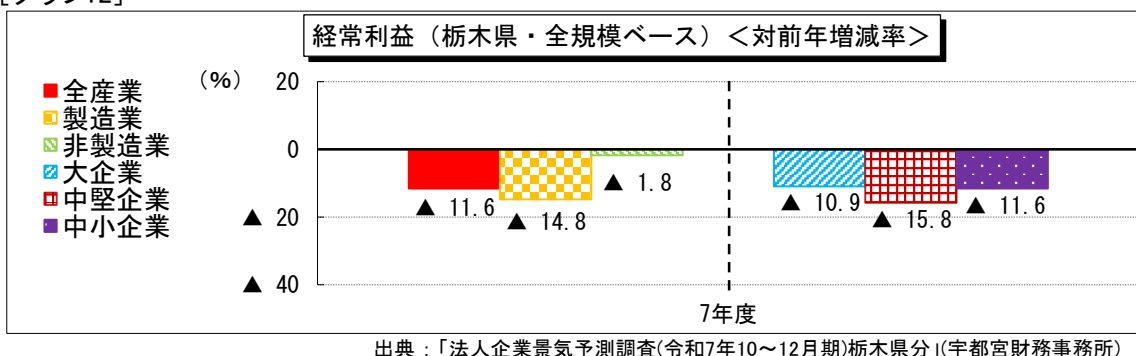
[グラフ11]



5. 企業収益

7年度は減益見込みとなっている

[グラフ12]



「上昇」超となっている

(%ポイント)

企業の景況判断BSI(栃木県・全規模全産業ベース)
＜前期比「上昇」-「下降」社数構成比＞

↑ 上昇超
↓ 下降超

現状

全規模・全産業
大企業
中堅企業
中小企業

時期	全規模・全産業	大企業	中堅企業	中小企業
6/7-9月	-5	0	-5	-5
10-12月	-2	8	-15	2
7/1-3月	-10	0	-10	-10
4-6月	-12	8	-15	-20
7-9月	-5	5	3	-10
10-12月	7	0	1	10
8/1-3月	-8	0	-20	-5
4-6月	4	0	0	6

前年を下回っている

新設住宅着工戸数(栃木県)＜対前年増減率＞

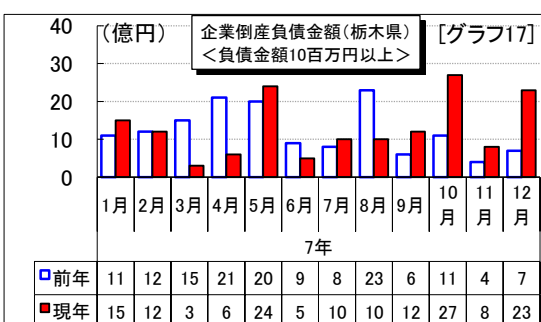
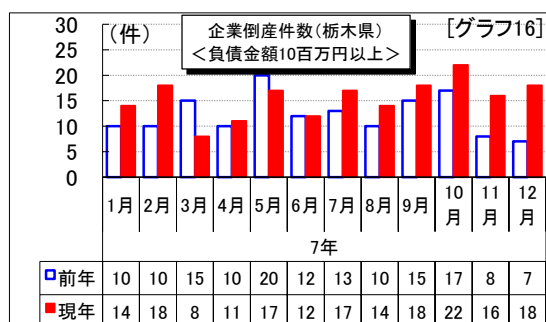
期間	総戸数	持家	賃貸	分譲
7/1-3月	28.0	10.0	55.0	50.0
4-6月	30.0	35.0	35.0	35.0
7-9月	30.0	30.0	30.0	30.0
10-11月	22.0	25.0	30.9	6.7
6/12月	25.0	20.0	45.0	11.7
7/1月	30.0	25.0	50.0	35.0
2月	45.0	30.0	45.0	45.0
3月	40.0	40.0	40.0	60.0
4月	10.0	20.0	30.0	60.0
5月	25.0	40.0	55.0	40.0
6月	10.0	25.0	40.0	45.0
7月	20.0	20.0	40.0	10.0
8月	15.0	25.0	50.0	20.0
9月	10.0	20.0	15.0	20.0
10月	35.0	20.0	55.0	15.0
11月	10.3	25.0	66.7	13.9

前年を下回っている

前払金保証請負金額(栃木県)＜対前年増減率＞

期間	全体	国	県	市町
7/1-3月	36.4	108.0	23.0	11.6
4-6月	36.4	108.0	23.0	11.6
7-9月	36.4	108.0	23.0	11.6
10-12月	36.4	108.0	23.0	11.6
7/1月	36.4	108.0	23.0	11.6
2月	36.4	108.0	23.0	11.6
3月	36.4	108.0	23.0	11.6
4月	36.4	108.0	23.0	11.6
5月	36.4	108.0	23.0	11.6
6月	36.4	108.0	23.0	11.6
7月	36.4	108.0	23.0	11.6
8月	36.4	108.0	23.0	11.6
9月	36.4	108.0	23.0	11.6
10月	36.4	108.0	23.0	11.6
11月	36.4	108.0	23.0	11.6
12月	36.4	108.0	23.0	11.6

倒産件数及び負債総額は前年を上回っている



4